

ボランティア・市民活動情報誌

COMVO

communication x voluntary

2022

11

月号

vol. 271

特集

誰一人取り残さない
SDGs「持続可能な開発目標」
すこやかで豊かな心を育む
学びと体験をこどもたちに

こども班会「コペルくん」

- 5 ボラ基金交付団体へ突撃取材
認知症の人同士がつながり、活動する
元気な姿を『おれんじドアおおさか』から発信
公益社団法人 認知症の人と家族の会 大阪府支部
- 6 目が見える人も、見えない人も
みんなで一緒に楽しめる絵本
特定非営利活動法人 てんやく絵本 ふれあい文庫



造形遊具(カプラ)でつくった、みんなの夢のまち(2019年)

特集

誰一人取り残さない
SDGs「持続可能な開発目標」

すこやかで豊かな心を育む 学びと体験をこどもたちに

4

質の高い教育を
みんなに



11

住み続けられる
まちづくりを



こども班会「コペルくん」

1989年に国連で採択された『こどもの権利条約』は、こどもが生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利を大きな柱に、こどもを一人の人間として認め、安全で幸せに生きる権利を定めています。

紛争などにごそ巻き込まれてはいないものの、貧困や教育問題など、こどもを取り巻く環境について、さまざまな課題が浮き彫りになっている現在の日本。

「すべてのこどもたちに、こどもらしく生き、すこやかに成長し、明るい未来を描いてほしい」。今回はそんな想いを胸に、地域の大人たちが取り組んでいる『こども班会「コペルくん」』の活動をご紹介します。

※子どもの基本的な人権を国際的に保障するために定められた条約。日本では1994年に批准(最終的な同意・確認)された。

いろんな体験を通じて
好きなことを見つけよう

毎月最終土曜日の午後、鶴見区にあるコープおおさか病院内の会議室には、たくさんのおともたちが元気にやっています。こどもたちのお目当ては、この場所で開催される『こども班会「コペルくん」』(以下、コペルくん)。幼稚園



児・小学生を中心としたこどもたちが、さまざまな学習や体験をすることのできる地域の居場所です。

中心となって運営しているのは、コープおおさか病院の職員やOB、保育園の元園長など、5人のボランティアメンバー。『コペルくん』という名称は、児童文学者・吉野源三郎氏の小説『君たちはどう生きるか』に登場する15歳の主人公の愛称です。

「小説に登場するコペルくんのように、こどもたちに、自分でさまざまなことに気づき、ものごとを考える人になってほしいという願いから名付けました。

私たちは城東区でこども食堂も運営していますが、こどもの貧困がクローズアップされる中、こどもたちには衣食住の問題だけでなく、経験や体験の豊かさが必要だと感じています。こども時代に体験できることがたくさんあれば、その子が興味のあることに導いてあげられるかもしれない。学校や家で



運営メンバーの西峯圭子さん



こどもたちに大人気の「サイエンスカフェ」

「しんどい」と感じている子たちも、自分の好きなことを見つけて夢中になれば、少しは気持ちが楽になってくれるのではないかと思うんです。」

そう話すのは、運営メンバーの西峯圭子さん（以下、西峯さん）。こどもたちが学校や家庭を離れて、自由な制約のないグループでいっしょに学び、遊べる居場所が作りたかったと設立当時を振り返ります。

こどもの自由な発想を
遊びの中で大切に

2017年の発足からおよそ5年の間に、『コペルくん』ではさまざまなプロ

グラムが行われてきました。科学の実験をみながら行う「サイエンスカフェ」や造形遊具（カプラ）のワークショップ、歯など身体の健康について学ぶ教室、食育教室などなど。プログラムごとに地域で暮らす人を中心に講師をお願いし、こどもたちが家族以外の大人たちとも交流できる機会を大切にしています。

「普段はこどもとゆっくりコミュニケーションが取れなかったり、地域の人たちとあまりつながりがなかったり。そんなご家族にもぜひ親子で参加してもらいたいです。講師や私たちスタッフ、



材料を選んで、どんな楽器ができるかな？

ほかの子の親御さんなど、みんな一緒になって子育てを応援できればと思っています」と、西峯さん。

取材に訪れた日の『コペルくん』のプログラムは、大阪教育大学の学生ボランティアが講師を務める「つくって、ならそう みんなでセッション」。ペットボトルやガチャガチャのケース、ビーズ玉、ペットボトルのふたなど、いろいろな材料が用意され、こどもたちはその中から好きなものを選んでオリジナル楽器を作ります。

作り方は決めつけず、自由な発想で好きなものを作るのが『コペルくん』のスタイル。こどもたちは振って音を確かめたり、友達と比べっこをしたり、マスキングテープやシールでデコレーションしたり、思い思いの楽器づくりに夢中です。



時間を忘れて楽器づくりに夢中

楽器が出来上がったら、大学生のお兄さん、お姉さんの楽器演奏に合わせて、みんなでリズム遊び。学生とスタッフによるミニ・オーケストラの演奏も楽しんで、約90分間の『コペルくん』は盛況のうちに終了。帰り際にはおやつやノートなどのおみやげをもらい、こどもたちは大満足の様子でした。

コロナ禍のストレスを 発散できる楽しい居場所に

積極的なSNS発信や地域のお母さんたちの口コミで『コペルくん』は開催



『おうちでコペルくん』を病院前で配布

を重ねるごとに参加者が増え、多い時には60人以上のこどもが参加するまでになりました。

ところが2020年2月、コロナウイルス感染症拡大の影響で『コペルくん』の開催は中止に。「これまでにできたつながりを途切れさせたくない」と、西峯さんたちはテイクアウトの学習セットを企画し、3か月後の5月には早くも動き出します。

その名も『おうちでコペルくん』。寄付でもらったお菓子や非常食、マスクとつじよに、こどもたちが今の状況を学んで理解できるよう、小児科の先生が書いたコロナウイルスについての冊子、フードバンクのしくみがわかるプリントなどをセットにして、病院前で配付しました。

さらに翌月には、参加人数限定の申込み制にして『コペルくん』を再開します。『コロナ禍でどこへも行けず、ストレスを発散できない状況が続く中で、こどもたちが楽しめることを』。そんな想いで企画したのが、体全体を打楽器にしてリズムを奏でるボディパーカッションのワークシoppや、屋外の駐車場でのダンスなど、声を出さなくても身体を動かして楽しめるプログラムです。また、本物にふれる感動体験として、プロの音楽家によるヴァイオリンとピアノの生演奏（こどもたちと一緒に音楽を届けるプロ

ジェクト）も行いました。

『コペルくん』ではこうしたプログラムを中心に活動を継続し、時には中止を余儀なくされながらも現在に至っています。

「発熱外来もある病院内で行っているため、コロナウイルスには本場に振り回されっぱなしです。それでも『コペルくん』が、こどもにとって癒しの場であり、好奇心を満たせる楽しい場所であることを一番に考えて行動しています。保護者や私たちも、こどもの笑顔に『コロナ禍を乗り越える力をもらっているんですよ。』



ボディパーカッションの第一人者・山田俊之先生といっしょに

さまざまな体験に瞳を輝かせながら、興味や想像力をふくらませていく『コペルくん』のこどもたち。日々成長し、「今度はこんなことがやりたい」と自分たちから声をあげてくれることを心待ちにしていると、西峯さんは最後にやさしい笑顔で話してくれました。

問合せ

こども班会「コペルくん」

〒538-0053 大阪市鶴見区鶴見3-6-22
コープおおさか病院内
TEL 06-6914-1175 FAX 06-6914-1101
Eメール coop-osakahp@health-coop.jp



これからも、こどもたちの成長を楽しみに

「保険について考えた時」そんな時には…

- こんな保険ってあるのかな？
- 今入ってる保険を見直したい
- 満期案内が届いた。
保険料を比較してみたい



保険相談してみませんか？

保険の相談窓口

平日／9:00～17:00

☎06-6252-4520

E-mail insshima@plum.ocn.ne.jp

来店スペースも
あります。

取扱保険会社

- 損害保険会社 = 8社
- 生命保険会社 = 14社

取扱保険種類

- 損害保険 = 自動車・火災・傷害・賠償・旅行 等
- 生命保険 = 死亡・医療・がん・年金・学資 等



〈社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会 提携代理店〉

株式会社 島本保険事務所

〒541-0056

大阪府中央区久太郎町4丁目1-3

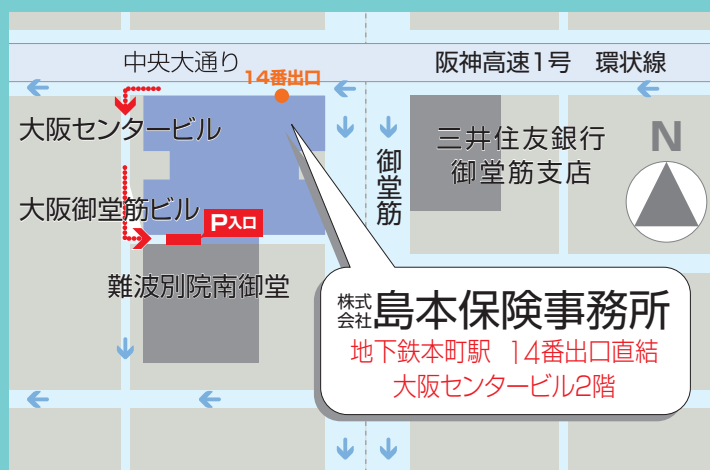
大阪センタービル2F

ホームページ <https://www.shj.co.jp/>

島本保険

検索

クリック



令和4年度大阪市ボランティア活動振興基金

※新しく創り出す活動支援

交付団体へ突撃取材

※新たな地域の福祉課題に着目し、課題解決のために、先駆的・主体的に団体が創り出した独自活動の支援

認知症の人同士がつながり、活動する 元気な姿を『おれんじドアおおさか』から発信

公益社団法人 認知症の人と家族の会 大阪府支部

『公益社団法人 認知症の人と家族の会』は、設立から40年以上の歴史をもつ認知症支援団体です。大阪府支部ではこれまで、つどいの開催、電話相談、会報誌の発行などを通して、認知症の人とその家族の不安や悩みに向き合ってきました。

ポートを行ってきました。事業が終了して改めて感じたのは、認知症の同士がつながることの大切さ。それに加えて、気持ちを支え合いながら、地域の中でいきいきと活動できる拠点の必要性です。

そして今年度、『新しく創り出す活動支援』の助成交付を受けて、天王寺区の住宅街に『おれんじドアおおさか』（以下、おれんじドア）を開設。「当事者の人たちが自分のやりたいことを発信・共有でき、それらにひとつずつチャレンジしながら地域の活動につなげていくことを一番大事にしています」と、支部の世話人を務める中村淳子さん（以下、中村さん）は話します。

6月に行われた第二回目の交流会には34人が参加し、6人の当事者を中心に、早速「これからの活動」について意

見交換。以降、毎週1回程度、土曜日を中心に交流会を実施し、長居植物園の散策、筆文字アート、編み物、ウクレレ音楽会など、やりたいことをひとつひとつ実現しながら交流を深めてきました。

中でも7月に『おれんじドア』の玄関前で開催した野菜マルシェは、野菜の袋詰めから販売までをみんなでを行い、買い物に来てくれた多くの地域の人たちとも交流できた、有意義な活動になりました。

「認知症の診断直後で落ち込んでおられたご本人が、マルシェでの買い物をつかきつけにその後の活動に参加されるなど、うれしい出会いもありました。当事者の人たちがいきいきと活動する姿を発信することで、地域社会の中で、認知症の人と共に取り組めることが増えていけばうれしいですね」と、中村さん。今後、

レクトに届ける機会をもっと増やしていきたいと話します。

認知症になっても、希望を持って前向きに活動する人はたくさんいます。『おれんじドア』は、そんな人たちがつながり、新たな活動を創造する拠点として、今後ますます発展していきそうです。

※1同じような立場や境遇経験等を共にする人同士が、ピアサ

問合せ

公益社団法人 認知症の人と家族の会

大阪府支部 おれんじドアおおさか

〒543-0023 大阪市天王寺区味原町7-6

TEL 06-6626-4936(月・水・金の11時~15時)

Eメール dementia@alz-osaka.net



野菜マルシェから、新鮮なおいしさを地域の人へ



積極的な意見が飛び交った第1回交流会

2019年7月から2021年度末までは、大阪市からの委託事業として『ゆっくりの部屋』を運営。認知症の人の社会活動推進をめざし、ピアサ



和気あいあいとした雰囲気の『おれんじドア』

地域イベントでの野菜マルシェや、認知症当事者による講演の予定も決まっています。認知症の人たちの声をダイ



目が見える人も、見えない人も

みんなで一緒に楽しめる絵本

特定非営利活動法人 てんやく絵本 ふれあい文庫

市販の絵本を見えない人にも

てんやく絵本とは、市販されている絵本の活字部分に透明な点字シートを貼り、さらに絵の形に透明シートを貼ったり、点字で絵の説明を添えたり、見えない人も見える人と同じように楽しめる工夫が施された絵本のこと。『てんやく絵本 ふれあい文庫』（以下、ふれあい文庫）は、1984年の創設以来、このて

見て、さわって楽しめる、てんやく絵本

んやく絵本の製作を行い、日本全国に貸出しを行っている団体です。「絵本はこどもにとって、お母さんの声で読んでもうたいたいものです。目が見えない私と見える



代表の岩田美津子さん

こどもと一緒に絵本を楽しむにはどうしたらいいだろう、という私の育児体験での思いから、試行錯誤を重ねて出来たのが、てんやく絵本なんです。」

そう話すのは、ふれあい文庫の代表を務める岩田美津子さん（以下、岩田さん）。

絵本作者の意図を壊さない。シールの貼り方は見える人が見た時に違和感のないように。絵の様子を伝える説明文はシンプルにわかりやすく。この3つを常に心がけながら、ボランティアの力を借りて制作したてんやく絵本は、これまでで1万タイトル以上にのぼります。

必要とする人に絵本を届ける

ふれあい文庫では、目が見えない親やこどものいる家庭をはじめ、学校や図書館など、年間約6,000冊ものてんやく絵本の貸出しを行っています。

絵本の選書・発送を行っているのは、約40人の登録ボランティア。利用者の年齢や性別などを考慮しておすすめの絵本を選び、定期的に発送します。ほかに、利用者名簿の管理、絵本の修理、出来上がったてんやく絵本のチェックや修正など仕事は多岐にわたり、10年、20年と通い続けている人が少なくありません。

「必要とする人たちに、もっとてんやく絵本を届けたい。さらには見えない人も見える人と同じように、図書館や書店で好きな絵本を選んで手に入れられる環境に近づけていきたいんです」と、岩田さん。近年は、出版社や印刷会社とともに『点字つき絵本』の出版と普及にも力を注ぎ、これまでに27冊の点字付き絵本が出版されました。



点訳文を確認するボランティアの皆さん

「将来的には、ふれあい文庫が必要なくなるほど点字つき絵本が普及することが私の願いです。それまではボランティアの皆さんと力を合わせて、楽しい絵本、素晴らしい絵本を送り続けたいと思います。」

誰もが一緒に

楽しめる、てんやく絵本や点字つき絵本。図書館や書店で見つけたら、ぜひ手に取ってみませんか。

問合せ

特定非営利活動法人
てんやく絵本 ふれあい文庫

TEL/FAX 06-6444-0133

<https://bccweb.bai.ne.jp/tenyaku-ehon/>



令和4年度

企業とこどもの居場所共創フォーラム

多様性のあるこども支援の継続を目指して

8月18日、『大阪市ボランティア・市民活動センター』と『こどもスマイリング・プロジェクト』との共催で、『令和4年度企業とこどもの居場所共創フォーラム』を開催しました。

※こども支援への関心が高い食品関連企業が参画し、こどもたちの心と体の成長に必要な『食』や、食に関わる経験を届け、食品企業様の様々な取組みへの理解と、地域への貢献の仕組み構築を目的として実施する事業。
<https://www.k-smile-ring.jp/>



会場とオンライン合わせて、約60人の参加者がありました

地域のこどもたちへ 今なにができるのか

本フォーラムは、実際にこども支援に関わる企業と活動団体、双方の実践事例を共有し、こどもの居場所活動への正しい理解や支援している企業の想い、今お互いができることを考えることで、こどもたちを支える「支援の輪」を広げていくことを目的としています。

今回のプログラムでは最初に、『株式会社セブン・イレブン・ジャパン』が登壇し、こども向け職業体験プログラムをはじめ、行政との見守り連携や大阪産野菜の応援企画について報告。続いて『大和冷機工業

株式会社』が、業務用冷蔵庫の総合メーカーであることを活かし、フードドライブで集まった食品や各家庭の余剰食材などを、必要とする人に提供できるフードバンクのような役割を果たす「街の冷蔵庫」プロジェクトの構想について発表しました。

『淡路こども食堂』からは、コロナ禍における活動状況や、今後活動継続していくための食材の地域プラットフォームの確立についてなどの話がありました。

大阪市ボランティア・市民活動センターとこどもスマイリング・プロジェクトからは、こども支援に係る事業について発表を行いました。（※P.8上段参照）

交流から生まれる 様々な視点でのこども支援

会場にはこどもの居場所活動団体をはじめ、こども支援への関心が高い企業の参加が多数ありました。質疑応答では、実際に企業が支援に着手する場合に必要なこと等について質問が挙



参加者からの熱心な質問に登壇者が回答

げられ、積極的な意見交換が行われました。

また、フォーラムの最後には、会場参加しているこどもの居場所活動団体や企業による交流の場を設け、それぞれが今後活動していくためのネットワーク構築を進めました。

地域こども支援ネットワーク事業では、企業・団体による交流の機会を設け、多様な支援方法の発掘へとつなげるとともに、こどもたちの自己肯定感、社会性、生活習慣など、将来の自立に向けて生き抜く力を育むことができるコミュニケーションをめざしていきます。



社会全体でこどもを支える仕組み

大阪市社会福祉協議会 地域こども支援ネットワーク事業の取組み

こどもに関する課題を「他人事」ではなく、一人ひとりが「我が事」と捉え、地域住民と社協、地域団体、民生委員・児童委員、社会福祉施設、企業・団体などが一体となって、こどもの食や学習の支援をはじめ、こどもたちが身近に集うことができる居場所づくりを推進しています。

◇活動者や応援者のネットワークづくり

●地域こども支援団体連絡会

開催日：偶数月の第3金曜日 午前10時～正午

●区域のネットワークとの連携

◇企業や社会福祉施設の協力による物資提供

●こども支援団体への物資提供の調整

◇企業等の協力による、交流イベントや体験活動

企業等の協力により、様々な世代とふれあう交流イベントや、企業の強みを活かした職業体験活動などを実施し、こどもの文化的な活動や将来の夢や目標を持つことを応援しています。

◇活動拠点や活動者の拡充

●こどもの居場所づくりサポート講座

●こども支援活動に関する相談支援

◇こども支援活動の啓発や広報活動

●啓発シンポジウムの開催

●ホームページでの情報発信

ホームページは
こちらから



問合せ

大阪市ボランティア・市民活動センター P14参照



ちいさなこどもと一緒に、みんなで食事を作ります

2017年にスタートした『寿こども料理食堂』では、月に2回、こども食堂が開かれています。
「毎日の食事を自分で用意することができるようになる」という目的のもと、こどもたちがみんな料理を作るのが大きな特色。こどもたちがメニューや作り方を調べて買い出しに行き、買ってきた食材を調理し、食事の後片付けまでこなします。

この日のメインメニューは鮭のクリームパスタ。こどもたちははてきばきと動き、地域の人にいただいた鮭を器

温かな雰囲気の中、みんなで調理を学び、大人や年齢の違う友だちとも出会う。『寿こども料理食堂』での体験は、きつとこ

れから先のこどもたちの糧となっていくのでしょ

問 合 せ

寿こども料理食堂

TEL 06-6674-3732 FAX 06-6674-3700

<https://sumiyoshi.or.jp>

おいですよ！
地域のこどもたち
こども食堂や学習支援など、大阪市内各地で広がる
こどもの居場所づくりの取組みをご紹介します。



寿こども料理食堂(住吉区)

用に揃っていきます。『テレビで紹介していた方法をやってみよう』と、ペットボトルのキャップで鱗を取る様子もとても楽しそうです。

この日訪れていたこどもは7人。長テーブルを囲んで、家族団欒しながらに出来上がった料理を味わいました。幼児から中学生まで幅広い年齢のこどもたちが参加しているため、食事の最中には様々な会話が飛び交います。小学生は

情報マーケット

Information Market

『参加してみたい!』と思ったり、
内容について聞いてみたいことがあれば、
各団体まで直接『コンボを見て』とお問い合わせください。



ボランティア
募集などの情報



イベント・講座・
セミナーなどの情報



その他、助成金
などの情報

OCVAC のウェブサイトから 団体ホームページに簡単アクセス!

- 1 気になる情報があれば、スマホで下記QRコードをQRコードリーダーで読み取る
- 2 画面を下にスクロールして『COMVO』最新号の表紙写真をタッチ
- 3 情報マーケットページで、気になる情報掲載団体の URL をタッチ
- 4 団体ホームページにアクセスできます!



★『COMVO』のバックナンバーもご覧いただけます

④お試しボランティア大募集!!~「ちょこっとお手伝い」しませんか~

中央区社会福祉協議会

<http://www.osaka-chuo-syaky.jp/volunteer/>

中央区にお住まいで高齢者、障がいのある方、子ども等対象にボランティア活動者を募集します。買い物、掃除等活動時間は1時間程度です。

日程 11/1~11/30(日、祝除く) 9:00~17:00

場所 利用者宅(中央区の桃谷・桃園・高津・大宝地域にお住まいの方)

人数・条件 どなたでも

申込方法 電話・FAX・Eメール・来所

問合せ▶ 中央区上本町西2-5-25ふれあいセンターもも
TEL/ 06-6763-8139 FAX/ 06-6763-8151
Eメール tiiki@eos.ocn.ne.jp (担当:御木)

⑤天王寺区の緑を守ろう! ~街路樹や公園樹をササから守る活動に参加しませんか~

天王寺区グリーンキーパーズ

ササの繁殖による樹木の衰弱や枯死を防ぐために、谷町筋や生玉公園でササ刈りや樹木の手入れの活動を行っています。興味のある人はぜひご参加ください。

日程 年内は11/5(土)、12/3(土)(※雨天時は各5日後の木曜日)
10:00~12:00

集合場所 天王寺区社会福祉協議会玄関前(天王寺区六万休町5-26)
地下鉄「四天王寺前」駅から徒歩2分 9:45集合

人数・条件 どなたでも 作業のできる服装(長袖・長ズボン・帽子)でご参加ください

申込方法 電話(※下記問合せ先まで)

問合せ▶ TEL/06-6774-3377
(担当:天王寺区社会福祉協議会 荒野)

⑥ボランティア募集!~夕食調理の準備・補助・後片付け~

つるみのおかんの井戸端食堂

<https://t7v3r.crayonsite.com/>

時間内であれば短時間でも大丈夫です!継続的に来ていただける方募集!

日程 第2・4(水) 14:00~21:30

場所 鶴見区民センター調理実習室(鶴見区横堤5-3-15)
地下鉄「横堤」駅から徒歩3分

人数・条件 どなたでも 定員:若干名
※エプロン・三角巾を持参

申込方法 電話(※下記問合せ先まで)

問合せ▶ TEL/06-6913-7070
(担当:鶴見区ボランティア・市民活動センター)

①弦楽器その他 ボランティアメンバー募集

福祉の管弦楽団まごころ

<http://www.orch-magokoro.com/>

日本で初めてつくられたボランティア専門の管弦楽団として福祉の場での演奏交流活動を行っています。演奏の特技でボランティアしてみませんか?

日程 日曜日(月に2回程度) 13:00~16:00 ※出欠は自由です。

場所 大阪市立都島区民センター(都島区中野町2-16-25)

人数・条件 どなたでも(ご見学歓迎!)参加費500円
福祉の場でのいろんなジャンルの曲(難曲はありません)の合奏に参加できる程度の方。譜面台はご持参ください。

申込方法 Eメール・ホームページへの書き込み・電話

問合せ▶ TEL/090-1481-9910
Eメール magokoro@gold.ocn.ne.jp (担当:仲川)

②大阪マラソン2023 ボランティア募集!

大阪マラソン組織委員会事務局

<https://osaka-marathon.com/>

ランナーの受付や沿道整理を行うボランティアを募集します。大阪の名所を駆け抜ける世界水準の大会を一緒に支えてみませんか?

日程 大会当日:2/26(日)
事前準備・受付:2/23(木・祝)~25(土)
※申込み時に参加希望時間をお伺いします。

場所 大阪城公園・インテックス大阪・大阪マラソンコース沿道(大阪市内)

人数・条件 活動日時時点で12歳以上、ただし小学生は不可。(中学生は保護者の同意、20歳以上の同伴者等が必要) 定員:10,000人

申込方法 郵便・HP(先着順)

問合せ▶ 大阪市住之江区南港北1-14-16
大阪府咲洲庁舎35階(大阪マラソンボランティアセンター)
TEL/06-6614-6677 (担当:蔭山)

③おとな食堂、こども食堂のボランティアスタッフを募集!

特定非営利活動法人希望の居場所

<http://1000c.jp>

毎週火曜日に高齢者向けのおとな食堂、第3土曜日にこども食堂をしています。調理や接客をお願いします。

日程 おとな食堂:11/1(火)・8(火)ほか毎週火曜日 10:30~15:00
こども食堂:11/19(土)ほか毎月第3土曜日10:30~15:00

場所 希望の居場所 都島サロン(都島区都島本通3-26-24)
地下鉄「都島」駅1番出口から徒歩5分
JR「桜ノ宮」駅東出口から徒歩12分

人数・条件 どなたでも(交通費・食事あり) 参加費:無料

申込方法 電話・FAX・Eメール・郵便・HP

問合せ▶ 〒534-0021 大阪市都島区都島本通3-6-24
TEL/06-7175-4748 FAX/06-7175-1099
Eメール1000c.eikan@gmail.com (担当:前田)

⑩第5回リカバリー・パレード「回復の祭典」in大阪

リカバリー・パレード関西実行委員会

<https://recoveryparade-kansai.org/>

パレードを通じ、社会の人達が依存症・こころの病は回復が可能であることを知り、これまでより多くの人達が回復を実現できる社会になると考えます。

日 程 11/13日(日) パレード/10:30集合 アフターフォーラム/13:00開始

場 所 (パレード集合場所) 朝公園 四ツ橋筋側の広場(西区朝本町1-9-20)
地下鉄「本町」駅28番出口

人数・条件 どなたでも(参加費:無料)

申込方法 申込不要

問合せ ▶ TEL/0774-51-6597

⑦みんなのごはん ボランティア募集

みんなのIBASYOプロジェクト

<https://ja-jp.facebook.com/ibasyo.project/>

手作りのご飯をみんなで一緒に食べています。ご飯を食べた後は、本を読んだり遊んだりしています。こどもたちの遊び相手や食後の片付けをしてくれる方を大募集!

日 程 第2・4(火) 18:00~20:00

場 所 北中道長屋(東成区中道1-9-10)
JR・地下鉄「森ノ宮」駅3から徒歩7分

人数・条件 どなたでも

申込方法 電話(活動日前日までにお申し込みください)

問合せ ▶ TEL/080-6154-3262 (担当:竹村)

⑪クレオ大阪子育て館フェスタ

クレオ大阪子育て館

<https://www.creo-osaka.or.jp/north/>

コンサートや手作りマーケット、おはなし会や遊びのコーナーなど、こどももおとなも楽しめるイベント盛りだくさんです!

日 程 10/29(土) 10:30~16:00

場 所 クレオ大阪子育て館(北区天神橋6-4-20 7階)
地下鉄、阪急千里線「天神橋筋六丁目」駅3番出口から連絡
JR大阪環状線「天満」駅から北へ徒歩10分

人数・条件 どなたでも 参加費:無料

申込方法 申込不要

※一部イベント「音を楽しむコンサート」要事前申込(電話もしくは窓口)

問合せ ▶ TEL/06-6354-0106 FAX/06-6354-0277

Eメール info@osaka-kosodate.net (担当:川合)

⑧第19回 なにわ美術展 開催のご案内

一般社団法人 大阪労働者福祉協議会

<https://osakarofukukyo.or.jp/>

毎回200点を超える作品を展示。「誰でも参加できる美術展」「出展作品は全て展示」をモットーに多くの美術愛好家に親しんでいただいています。

日 程 11/25(金)~11/30(水) 10:00~18:00(入館は閉館の30分前まで)
※11/30は13:00まで

場 所 エル・おおさか本館9・10階(中央区北浜東3-14)
地下鉄・京阪「天満橋」駅から徒歩4分
地下鉄・京阪「北浜」駅から徒歩10分

人数・条件 どなたでも 参加費:無料

申込方法 申込不要

問合せ ▶ TEL/06-6943-6025 FAX/06-6943-5347

Eメール info@osakarofukukyo.or.jp (担当:間瀬)

⑫こころのほかほか講座~心の病をもちながら地域で楽しくくらす~

平野区社会福祉協議会/平野区ボランティア・市民活動センター

<http://hirano-kushakyo.or.jp/>

どうしたら地域で孤立せず楽しくくらすのか?講座を通してともに考えてみませんか?

日 程 1回目 11/22(火) 14:00~16:00
・当事者のおはなし
2回目 11/28(月) 14:00~16:00
・臨床心理士からのおはなし
精神保健福祉総合研究所 代表 田村 雅幸 氏

場 所 にこにこセンター(平野区平野東2-1-30)
JR「平野」駅から徒歩15分
地下鉄「平野」駅4番出口から徒歩13分

人数・条件 区内在住・在勤で精神保健福祉ボランティア活動に興味のある方
定員:25人 参加費:無料

申込方法 電話・FAX・来所 締切:11/15(火)

問合せ ▶ TEL/06-6795-2200 FAX/06-6795-2929

Eメール nico-nico.c@3sweb.ne.jp (担当:菱井)

⑨宇宙のおはなしと望遠鏡講座「星雲、星団を見るコツと星の一生」

関西で星を学ぶ会

<https://sites.google.com/view/kansaidehoshi/>

星空観察から天体を探すコツ、星の一生を知ること、星雲、星団、銀河系と関連させて学習する講座です。

日 程 11/12(土) 14:00~16:30

場 所 大阪市立総合生涯学習センター(北区梅田1-2-500 大阪駅前第2ビル5階)
地下鉄「梅田」「東梅田」駅
JR「大阪」「北新地」駅

人数・条件 高校生以上 参加費:無料 定員:15人(抽選)

申込方法 HP 締切:11/6(日) 18:00

問合せ ▶ TEL/090-8121-6929

Eメール k337yjunam@gmail.com (担当:モミヤマ)

大切なお知らせ!!

参加前には必ず団体に
問合せください

※情報マーケットの掲載のイベント等につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、急きよ事前の連絡なく中止・延期となる場合があります。ご了承ください。





⑮2023年度 公募助成

公益財団法人 JR西日本あんしん社会財団

<https://jr-w-relief-f.or.jp/aid/#aid-page01>

事故や災害などに起因する心身のケアをはじめとした、身近な「いのち」を支える活動及び研究を応援します！

助成テーマ ○事故、災害や不測の事態に対する備えに関する活動及び研究
○事故、災害や不測の事態が起こった後の心身のケアに関する活動及び研究
○事故、災害等の風化防止に関する活動及び研究
※「平成30年7月豪雨(西日本豪雨)」による災害に関する被災地・被災者支援活動を含む

助成金額 活動1件/50万円以下 なお、前回の活動助成採択率は55%

研究1件/1年助成:150万円以下、2年助成:300万円以下

※詳しくはHPを参照

申請方法 HP上のお申込みフォーム(申請書)に必要な事項を入力の上申請してください。

応募締切 11/15(火) 厳守

問合せ▶ JR西日本あんしん社会財団事務局
TEL/06-6375-3202 Eメール info@jr-w-relief-f.or.jp



⑬2023年度助成(地域文化の振興)

公益財団法人 三菱UFJ信託地域文化財団

<http://www.mut-tiikibunkazaidan.or.jp/>

地域文化の振興に資する音楽・美術・演劇・伝統芸能の各分野の活動団体に対する助成を行っております。

助成対象 (1)国内の団体・法人が日本国内で行う、地域文化振興に寄与し、文化・芸術的に優れた公演・美術展等

(2)前項の公演・美術展等は、2023/4/1~2024/3/31に開催もしくは会期が開始するものとする

応募資格 音楽部門、演劇部門、伝統芸能部門は、アマチュアの団体・公演に限る

助成金額 上限なし(実績として1件あたりの助成金 20万円から70万円程度)

申請方法 HPから所定の申請書をダウンロードし、必要事項を記入、必要資料を添付の上郵送

応募締切 11/30(水) 消印有効

問合せ▶ 公益財団法人 三菱UFJ信託地域文化財団
〒103-0027 東京都中央区日本橋2-2-4 日本橋ビル
TEL/03-3272-6993



⑯2023年度 助成団体の募集

公益財団法人 大阪コミュニティ財団

<http://osaka-community.or.jp>

当財団では、公益活動をされている非営利団体を対象に2023年度助成金の申請受付を開始しました。詳細は当財団のホームページでご確認ください。

対象団体 1年以上の活動実績を有する非営利団体(法人格の有無は問わない)

助成金額 助成事業により異なる

応募方法 HPから所定の応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入、必要資料を添付の上郵送

応募締切 11/28(月) 消印有効

問合せ▶ 公益財団法人 大阪コミュニティ財団
〒540-0029 中央区本町橋2-8 大阪商工会議所ビル5階
TEL/06-6944-6260 (担当:豊谷・勝山)



⑭2023年度 日本郵便年賀寄付金配分事業の公募

日本郵便株式会社

<https://www.post.japanpost.jp/kifu/>

日本郵便年賀寄付金による社会貢献事業助成です。

対象分野 一般枠 活動・一般プログラム/施設改修/車両購入/機器購入

活動・チャレンジプログラム

特別枠 東日本大震災、令和元年台風19号および令和2年7月豪雨の被災者救助・予防(復興)

新型コロナウイルス感染症の予防・拡大防止

助成金額 上限1件あたり500万円 ※活動・チャレンジプログラムのみ50万円

応募方法 日本郵便Webサイトの申請入力フォームで必要事項を入力し申請の上、必要書類を郵送

応募締切 11/4(金) 消印有効

問合せ▶ 日本郵便株式会社 総務室内 年賀寄付金事務局
〒100-8792 東京都千代田区大手町2-3-1 大手町プレイスウエストタワー
TEL/03-3477-0567

第8期

ときどき“記者” よーせーこーぞ

受講者募集

定員
15人
(先着順)

参加費
無料
(全2回)

取材時に必要なスキル、読者の心に届く表現の仕方・工夫など、市民ボランティア記者として必要な基礎知識を学ぶ2回連続講座です。受講後、情報誌『COMVO』で活動できます。

日時

11月7日(月)、11月14日(月)

いずれも午後6時30分から8時15分まで

2回連続講座

会場

大阪市立社会福祉センター 1階第7会議室(11/7)・
3階第3会議室(11/14) (大阪市天王寺区東高津町12-10)

対象

市内のボランティア・市民活動に興味があり、本誌『COMVO』の記者として活動できる人

講師

朝日恵子さん(フリーライター)

11月7日(月)
取材が楽しくなる
テクニク

内容

インタビューやコミュニケーションの中で、対話を楽しみながら、活動者や参加者の思いを聞き出すコツを学びます。

11月14日(月)
伝わる文章の
書き方とは?

内容

たくさん得た取材内容の中から情報を絞り込み、読者に、大切なエピソードを伝える文章の書き方を学びます。

主催

大阪市ボランティア・市民活動センター

申込み・問合せ

大阪市ボランティア・市民活動センター(P.14参考)

※名前、住所、連絡先、志望理由を添えて、TEL、FAX、または右の申込みフォームからお申込みください。

申込みフォーム



NPO団体 リアルレポート

活発に市民活動に取り組むNPO団体からのメッセージをリリーススタイルでお届けします。

老舗おもちゃ屋跡地のフリースペース 心の拠り所と、学びの場を提供

NPO法人 ゆらゆら

2010年に大阪市港区で設立されたNPO法人ゆらゆら(孤立化問題研究所)は、あらゆる人の孤立化の軽減を目的に、地域の子育て支援拠点「あずまや(旧称ミシン)」を運営しています。2020年7月、下町の情緒溢れる港区の中でも、ひときわ昭和感が漂う「南市岡11番街」の老舗おもちゃ屋の跡地へ移転。フリースペースを無料開放し、誰もが安心して過ごせる心の拠り所を、こどもたちと一緒に作っています。

長期化するコロナ禍により、「孤独・孤立に対する不安の増加」、「外出自粛による家庭内トラブル」、「スマホやゲーム依存による心の病(睡眠障害など)」など、あらゆる問題が深刻化。近隣の学校や行政とも連携を取りながら、日々たくさんの課題に向き合っています。

現在は、学びの場を併設することを目標に、倉庫を図書スペースに改修中。不要になった本を全国から募集しています。ご協力よろしくお願いします。

<https://yura2.net/>



空き店舗を拠点として、誰もの心の拠り所となる居場所づくり



おくばっくん

情報求む!

ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時、お待ちしております。どしどしお寄せください。



申し込み方法

大阪市ボランティア・市民活動センターHP内の専用フォームから情報をお寄せください。 <https://ws.formzu.net/fgen/S35245908/>

申込先・問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室
天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター1F TEL/06-6765-4041 FAX/06-6765-5618 (担当:泉・竹澤)
※募集締切は掲載希望号発行月の前々月末日とします。
(例: 2022年12月15日発行号(1月号)に掲載希望の場合は2022年10月末まで)

おことわり

※受付・掲載有無について、編集室からはご連絡しません。※申し込み＝掲載確定ではありません。誌面に限りもあり、ご希望に添えない場合があります。※掲載された場合は、編集室から問い合わせや申し込み状況などの反響についてお尋ねする場合があります。

OCVAC(おくばっく) オリジナルエコバッグをプレゼント!!

いつも情報誌COMVOをご愛読いただき誠にありがとうございます。
P14上段の読者アンケートにご協力いただいたみなさまの中から抽選で毎号5人に、大阪市ボランティア・市民活動センター公式マスコットキャラクター『おくばっくん』をプリントしたオリジナルエコバッグをお送りします。

ぜひ、ご意見・ご感想をお聞かせください。

※応募は、ハガキ、ファックス、Eメール、またはQRコードからお送りください(P14参照)

小さくたたんで
持ち歩けるよ!



縦410mm×横380mm

学生ボランティア活動

それゆけ!

がんばれ!

連載リレーコラム

No.25

これから社会に飛び出していく学生。さまざまな活動や人との交流ができるボランティア活動。興味を持つきっかけや、現在の活動、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなど、若者たちのリアルな声を届けます。

自分の成長の場にもなった、こどもの居場所

私は大学2年生から大阪市が『NPO法人みらいず2』に委託している不登校児童の通所ルームでボランティア活動を行なっています。

始まる前はボランティアって難しそうだなと感じていました。ですが、実際活動に参加してみると、学びも多



カードゲームで子どもたちとコミュニケーション

くとも楽しいです。また、スタッフ同士も仲良しですーこのあいだ数人で万博公園に行ってきました! プライベートでご飯に行くこともあります。そんなボランティアが私のひとつの居場所でもあります。

活動内容は、子どもたちと一緒にルームでカードゲームを囲んで遊んだり、一緒に話したりします。また、月に二回イベントを開催します。スタッフは子どもたちにとって楽しい日になるよう、沢山の経験をしてもらえるように試行錯誤しながらイベントの計画を練っています。

実は私、このボランティア活動でパソコンの使い方を学びました。入っていた頃は全然パソコンを使えなかったのですが、今ではイベントのチラシを



武庫川女子大学
心理・社会福祉学科
かわむらひなこ
川村 日奈子

プロフィール

所属団体: NPO法人 みらいず2
趣味: 愛犬と遊ぶこと
学年: 3年生

作られるまでに成長しています。また、子どもたちとの関わりの中でごどもから学ぶことがたくさんありました。ごどもたちはよく気遣ってくれた。居場所を盛り上げてくれたりします。このようにごどもたちから学びを得られることもあります。

この居場所はごどもとスタッフが一緒に成長できる場です。スタッフにとっても、ごどもにとっても多くの人と関わって成長しています。なので、多くの学生に来て欲しいです! 福祉や教育学部じゃないとダメ? そんなことはありません。いろいろな人がボランティアとして来てくれると、ごどもたちの視野も広がります。ぜひ、ごどもたちと一緒に成長してみませんか?

学生コラムライター大募集!!

情報誌『COMVO』では、ボランティア活動への思いを寄稿してくれる学生を募集中!!

ボランティアに興味を持ったきっかけや、いま活動していること、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなどを書いてみませんか?

対象 大阪市域でのボランティア活動に取り組む学生(大学生・専門学校生・高校生)
※活動分野は不問。在籍学校は市外でもかまいません。

内容 文字数500文字程度(ご本人の写真、活動中の写真もデータでご提供いただきます)

応募方法 右のフォームからお申込みください。エントリーいただいた方には折り返しご連絡いたします。

お問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター
ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室
TEL.06-6765-4041 FAX.06-6765-5618 (担当: 泉・竹澤)

エントリーはこちら ▶



アンケートにご協力ください！

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力をお願いしています。あなたのご意見やご感想をお聞かせください。抽選で毎月5人に記念品をプレゼントします。

応募方法

- ①あなたの氏名、郵便番号、住所、性別、職業、年齢、電話番号、本誌入手先、読者歴をお書きください。
- ②下記の1～6の質問の回答をお書きください。

1. あなたのボランティア活動歴を教えてください。
ア なし イ 1年未満 ウ 1～4年 エ 5～9年 オ 10年以上
2. 活動歴のある人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。
3. これまでに情報誌 COMVO を見て、ボランティア活動をしたことはありますか。
ア ある イ なし ウ まだ迷っている(その理由も教えてください)
4. 今月号で良かった記事は何ページですか？その理由も教えてください。
5. 本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。
6. その他、ご意見、ご感想を記入ください。

①、②の必要事項をFAXがハガキに記入のうえ、当センターまでお送りください。
※パソコン・スマホからも回答できます。

<https://ws.formzu.net/dist/S38892286/>

(宛先)

大阪市ボランティア・市民活動センター

「読者アンケート 情報誌COMVO271号係」まで

(住所は下記参照)

※締め切り 2022(令和4)年11月10日(消印有効)

※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。

※お預かりした個人情報、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人を特定される記載は行いません。



編集後記

台風の到来が多くなってきた今日この頃、皆さんは防災グッズなどの備えはいかがでしょうか。つい最近も“最強”と銘打たれた台風が日本全国を襲いました。私自身、万が一の備えとして防災グッズを自宅には準備していますが、“一応”確認しておこうと思い、防災グッズに手を伸ばしてみました。すると、準備していたはずの懐中電灯内の電池が錆びてしまい、使えない状態であることに気がきました。

今回、幸いにも防災グッズの点検だけで済みましたが、いざ使うことになっていけば、と考えると冷や汗が出ました。

日本には上陸しない台風でも、もしかしたら、「定期的に確認しときや」と注意喚起してくれているのかもしれない。みなさんも、防災グッズの点検の機会だと考え、万が一に備えて、確認してみたいかがでしょうか。

ボランティア・市民活動情報誌 「COMVO」へ広告募集!

「普段着のわたし、ステキにいいこと」をコンセプトにしたボランティア・市民活動情報誌COMVO。

大阪のボランティア・市民活動情報が満載!市民が誰でも気軽に手に入れることができるフリーペーパーに貴社の広告を掲載しませんか。

■体裁・発行・部数

B5判 16頁(フルカラー)年10回発行

■広告申し込み締切

発行日の2ヶ月前(スペースに限りがありますので、お早めに申してください)

■申込方法

下記まで問合せください

赤字が
本文 1/5 ページ
サイズと同じです



広告料金(税込)

掲載箇所 スペース	料金(税込)	版下サイズ(mm)	
表4 1ページ	234,000円	240×170	
表4 1/2ページ	127,500円	117×170	
本文 1ページ	156,000円	257×182	240×170
本文 1/2ページ	85,000円	117×170	
本文 1/5ページ	38,000円	48×162	

※原稿は原寸大の完全原稿(データ)で入稿ください。

それ以外は別途製版料が必要です。

※掲載ページの指定はできません。

※内容により掲載をお断りする場合があります。

企画・発行

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

ふれあいネットワーク

大阪市ボランティア・市民活動センター

Osaka City Voluntary Action Center

所在地/〒543-0021大阪市天王寺区東高津町12-10大阪市立社会福祉センター1F

TEL/ 06-6765-4041 FAX/ 06-6765-5618

E-mail/ocvac@osaka-sishakyo.jp <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/>

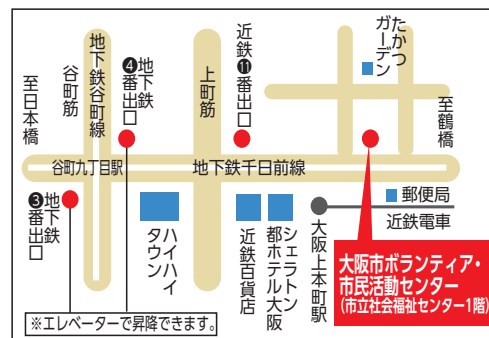
●開館時間:午前9時～午後7時(月～金) 午前9時～午後5時30分(土)

●休館日:日・祝・国民の休日・年末年始 ●発行日:2022年10月15日(8月と1月を除く毎月15日発行)

●発行部数:40,000部 ●制作協力:商工印刷株式会社 ●点訳協力:NPO法人ぽこ・あ・ぽこ

掲載写真についてはすべて、撮影・掲載の許可を得たものを使用しています。

●本誌は大阪府共同募金会の助成をいただいています



「COMVO」主な設置・配布場所

ウェブサイトからもチェック可能! <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/comvo/>

阪神電車(梅田駅・野田駅)、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)、各区在宅サービスセンター(区社協)、大阪市役所・区役所、区民センター、フレオ大阪、大阪市内の各区図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商店会総連盟加盟商店街、大阪シティ信用金庫府内の店舗など

※OCVAC(大阪市ボランティア・市民活動センター)では、バックナンバーの閲覧、入手も可能です。

twitter <http://twitter.com/ocvic1998> Facebookページ <https://www.facebook.com/ocvac>

森と人間、 どちらも元気にする方法が 見つかった。

インドネシア熱帯雨林再生プロジェクト。地元住民が生活のために伐採した森林の再生のためには、まず彼らの暮らしを支える経済貢献が必要でした。また、植林が進んだ後は、再生した森がまた伐採されないよう、地元小学校への啓発と支援を進めました。木を植える。そのシンプルな環境貢献のために一番必要になったのは、地元で暮らす人々との対話でした。森がよみがえり、人に笑顔が戻る。私たちの環境問題への取り組みは「対話」からはじまります。



インドネシアバリヤン第二小学校

対話するエコ。

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

24区ボランティア・市民活動センター一覧

ボランティア活動に関するご相談をお気軽にお寄せください。

名 称	所 在 地	電話(06)	FAX(06)
北区ボランティア・市民活動センター	北区神山町15-11 いきいきネット	6313-5566	6313-2921
都島区ボランティア・市民活動センター	都島区都島本通3-12-31 ふれあいセンター都島	6929-9500	6929-9504
福島区ボランティア・市民活動センター	福島区海老江6-2-22 あいあいセンター	6454-4553	6454-6331
此花区ボランティア・市民活動センター	此花区伝法3-2-27 此花ふれあいセンター	6462-1224	6462-1984
中央区ボランティア・市民活動センター	中央区上本町西2-5-25 ふれあいセンターもも	6763-8139	6763-8151
西区ボランティア・市民活動センター	西区新町4-5-14 にしながほり	6539-8075	6539-8073
港区ボランティア・市民活動センター	港区弁天2-15-1 ひまわり	6575-1212	6575-1025
大正区ボランティア・市民活動センター	大正区小林西1-14-3 大正区ふれあい福祉センター	6555-7575	6555-0687
天王寺区ボランティア・市民活動センター	天王寺区六万休町5-26 ゆうあい	6774-3377	6774-3399
浪速区ボランティア・市民活動センター	浪速区難波中3-8-8 浪速区在宅サービスセンター	6636-6027	6636-6028
西淀川区ボランティア・市民活動センター	西淀川区千舟2-7-7 ふくふく	6478-2941	6478-2945
淀川区ボランティア・市民活動センター	淀川区三国本町2-14-3 やすらぎ	6394-2900	6394-2978
東淀川区ボランティア・市民活動センター	東淀川区菅原4-4-37 ほほえみ	6370-1630	6370-7330
東成区ボランティア・市民活動センター	東成区大今里南3-11-2 ひがしなり	6977-6336	6977-6339
生野区ボランティア・市民活動センター	生野区勝山北3-13-20 おかちやま	6712-3101	6712-3001
旭区ボランティア・市民活動センター	旭区高殿6-16-1 あさひあったかセンター	6957-2200	6957-7282
城東区ボランティア・市民活動センター	城東区中央2-11-16 ゆうゆう	6936-1153	6936-1154
鶴見区ボランティア・市民活動センター	鶴見区諸口5-浜6-12 鶴見区在宅サービスセンター	6913-7070	6913-7676
あべのボランティア活動センター	阿倍野区帝塚山1-3-8 阿倍野区在宅サービスセンター	6628-3434	6628-9393
住之江区ボランティア・市民活動センター	住之江区御崎4-6-10 さざなみ	6686-2234	6686-0400
住吉区ボランティア・市民活動センター	住吉区浅香1-8-47 いきいき	6607-8181	6692-8813
東住吉区ボランティア・市民活動センター	東住吉区田辺2-10-18 さわやかセンター	6628-2020	6622-8973
平野区ボランティア・市民活動センター	平野区平野東2-1-30 にこにこセンター	6795-2200	6795-2929
西成区ボランティア・市民活動センター	西成区岸里1-5-20 はぎのさと	6656-0080	6656-0668